

### 読者から

#### 世界に通じる特許明細書を

6月5日号の時流超流「御手洗-安倍・福田の蜜月 知財重視の日本経団連、競争力で国と連携」を読んだ。

知的財産の重要性は、詰まるところは世界に通用する「発明仕様書(特許明細書)」を作る点にある。これができない限り、いくら言葉で訴えたり特許制度をいじっても「知的財産立国日本」はお題目だけで終わってしまう。

「知的財産化」とは発明、ノウハウ、システム、製品といった知財を文書化して共有、伝承させ、リスクに備えるための仕組み作りである。特許は現物で申請することはできないから、「特許明細書」という文書で申請することになる。

日本企業の製品作りには定評がある。しかし、知的財産を保護するための文書は欠陥品が多い。グローバル社会における共通語は英語なのだから、世界を相手に理解を求めるのであれば、英語で「論理的」に説明するしか方法はない。

日本人は日本語という言語のハンディをもっと自覚すべきであろう。例えば、翻訳ができない、日本人でも難解な文章が外国特許出願や契約を不利にしている。日本の技術者は英語の読解力と論理的に記述する構成力、展開力が必要だ。

中国への技術流出が懸念されているが、現地化を進めるためには知的財産の流出は避けられない。だからこそ知的財産の範囲を明確にして平明に主唱する文書が必要なのである。多くの企業トップはこうした自社の外国出願の惨憺たる事実をまだつかんでいないようである。1日も早く事実を把握して問題の本質を洗い出し早急に改善すべきである。

矢間伸次(千葉県、会社経営、62歳)

### 読者から

#### 世界に通じる特許明細書を

6月5日号の時流超流「御手洗-安倍・福田の蜜月 知財重視の日本経団連、競争力で国と連携」を読んだ。

知的財産の重要性は、詰まるところは世界に通用する「発明仕様書(特許明細書)」を作る点にある。これができない限り、いくら言葉で訴えたり特許制度をいじっても「知的財産立国日本」はお題目だけで終わってしまう。

「知的財産化」とは発明、ノウハウ、システム、製品といった知財を文書化して共有、伝承させ、リスクに備えるための仕組み作りである。特許は現物で申請することはできないから、「特許明細書」という文書で申請することになる。

日本企業の製品作りには定評がある。しかし、知的財産を保護するための文書は欠陥品が多い。グローバル社会における共通語は英語なのだから、世界を相手に理解を求めるのであれば、英語で「論理的」に説明するしか方法はない。

日本人は日本語という言語のハンディをもっと自覚すべきであろう。例えば、翻訳ができない、日本人でも難解な文章が外国特許出願や契約を不利にしている。日本の技術者は英語の読解力と論理的に記述する構成力、展開力が必要だ。

中国への技術流出が懸念されているが、現地化を進めるためには知的財産の流出は避けられない。だからこそ知的財産の範囲を明確にして平明に主唱する文書が必要なのである。多くの企業トップはこうした自社の外国出願の惨憺たる事実をまだつかんでいないようである。1日も早く事実を把握して問題の本質を洗い出し早急に改善すべきである。

矢間伸次(千葉県、会社経営、62歳)